



神話の源流

はじまりの物語

自然の中で幸を感じる

日南・串間の旅

神話の源流へ。
宮崎県

神話の源流へ。～みやざき神話ストーリー～

海幸彦・山幸彦

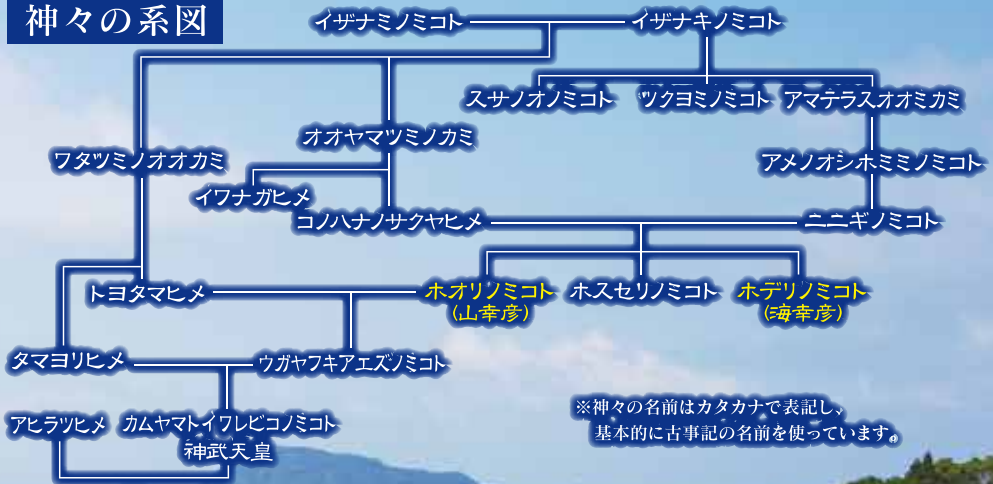
天孫ニギノミコトとコノハナノサクヤヒメとの間に生まれたホデリノミコトとホオリノミコト。兄のホデリノミコトは海の幸を獲るので海幸彦、弟のホオリノミコトは山の幸を獲るので山幸彦とも呼ばれます。

釣りや狩りのそれぞれの道具を交換することにした海幸彦と山幸彦ですが、お互いに獲物はまったく獲れません。さらに山幸彦は、海幸彦から借りた大切な釣り針をなくしてしまいます。海幸彦から責められ途方に暮れていた山幸彦は、シオツチノカミの導きにより、海神ワタツミノオオカミの宮にたどり着きます。

ワタツミノオオカミの娘、トヨタマヒメと恋におちた山幸彦は、3年の時を楽しく過ごし、ワタツミノオオカミの協力を得て釣り針を見つけ出します。山幸彦はワタツミノオオカミから教わった詛いを釣り針にかけて海幸彦に返したため、海幸彦は次第に貧しくなり、山幸彦を攻めてきます。しかし、山幸彦がワタツミノオオカミから授かった塩盈珠（しおみつたま）と塩乾珠（しおふるたま）により、海幸彦は苦しめられ、ついには降参し、山幸彦に仕えるようになったのです。

海幸彦や山幸彦など神々ゆかりの地が残る日南市と串間市。自然に囲まれながら、息づく神話に思いを馳せ、雄大な景色に幸を感じる旅に出かけましょう。

神々の系図



海幸彦と山幸彦の物語が息づく日南・串間へ

1 日南市 兄弟神がそれぞれ辿った道のりに思いを馳せる旅……………P.2

海幸彦と山幸彦ゆかりの地が点在する日南市。春の訪れを告げる神楽に触れ、神話と季節の移ろいを感じる旅へ。

2 串間市 山幸彦の軌跡を辿り、豊かな自然から明日への活力を得る旅……………P.10

山幸彦にまつわる伝承が息づく串間市。雄大な自然とその恵みに感謝し、明日への力を蓄える旅へ。

神話をなぞって

鳥戸神宮

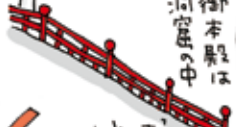
■主祭神
ウガヤフキ
アマエス



「フキアマエス」海に帰ります
「見ると」と言われたら出産を見てしまっただけ
「お乳をいっかくお運」
トヨマヒク

洞窟の中は「しっとりして肌にいい」
御本殿は洞窟の中
洞窟には「はりついた御乳石」
現在は「おちあふれ」
味やえまます

下っていく
お宮
帰りがたいへん



お話し

神話に出てくる神様をお祀りしている神社を訪ねます
神様の系図(P1)を頭の中に入れて、こー



イラスト
上大岡トキ

鳥戸神宮と鳥居も同じ



「古くから縁結びの神様」とされてきた

榎原神社

■主祭神
アマテラス



江戸時代の町並み

九州の「小京都」と言われている

これが「厚皮き印」

甘い印豆腐が「甘さひかえ目のプリン」

「むっちゃん」
「おもしろい!!」
「すん」
四半的



伊勢エビの「お頭」
この地域の「特産」
おそえ

境内にある「榎原神社の柱には」
神女「万壽姫を祀り」

境内に祀られている祠は11件



ほかに「祭神十二柱」



串間神社

■主祭神
ホオリ(山幸彦)

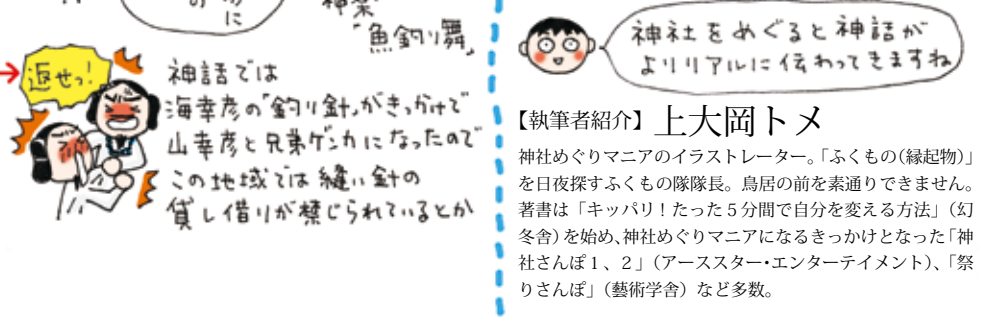
山幸彦が山に狩りに行くときにここに宮を置いていたと言われている

「大根の「下サイン」色っぽい」
「拝殿には」

近くの「加体木林」
「山幸彦の祠と一緒に祀りされている」
串間中学校の校庭



神社めぐり 開



母の子を想う気持ちに
思いを馳せる。

山幸彦とトヨタマヒメの物語が残る 「日南市」

山幸彦がワタツミノオオカミの宮から帰ってきてから後のある日のこと、トヨタマヒメが山幸彦との間にできた子を出産するため、山幸彦のもとを訪ねてきます。山幸彦はすぐさま、鶺鴒の羽を使って産屋を作り始めますが、出来上がらないうちにトヨタマヒメは出産のときを迎え、「子を産むときには本来の姿になるので、決して中を見ないでください。」と言い、産屋に入ってしまった。見てはいけないと言われていたにも関わらず、壁の隙間からのぞいてしまった山幸彦の目に映ったのは、大きなサメでした。無事、子を産み終えたトヨタマヒメですが、本来の姿を見られたことを恥ずかしく思い、産まれた子を置いてワタツミノオオカミの宮へ帰ってしまいました。その時産まれたのが、ウガヤフキアエズノミコトです。

愛しいウガヤフキアエズノミコトのため、トヨタマヒメは自らの乳房を残し、また、妹のタマヨリヒメを遣わしたのでした。

愛しい我が子と別れざるを得なかったトヨタマヒメの苦悩と、愛情の深さを伺い知ることができる気がします。

産 鵜戸神宮

ウガヤフキアエズノミコトの生誕の地に鎮座するとされます。その母トヨタマヒメが、我が子を思って残したといわれる「お乳岩」や、トヨタマヒメが海神の宮から乗ってきた亀がそのまま岩になったとされる「亀石」があります。

所在地：宮崎県日南市大字宮浦 3232 TEL：0987-29-1001



亀石



お乳岩



平成29年 鵜戸神宮一帯が国の名勝に指定されました。



よわら

産 榎原神社

鵜戸神宮の神霊を勧請して創建されました。楼門や鐘楼など、県の有形文化財に指定されている立派な建造物が残ります。神女として万寿姫が祀られる拱社・桜井神社には、珍しい伊勢エビの意匠があります。

所在地：日南市南郷町榎原甲 1134-4 TEL：0987-68-1028



🍷 タマヨリヒメ陵

トヨタマヒメの妹でウガヤフキアエズノミコトの妻となった、タマヨリヒメの御陵墓と伝えられる場所。近くにある宮浦神社は、タマヨリヒメの住居跡にあるとされ、タマヨリヒメを祀ります。

所在地：日南市大字宮浦



周辺観光 Info.

Information

日本一きれいな海水浴場



🍷 富士海水浴場

日本の快水浴場百選にも選ばれています。また、2011年には環境省から、水質が特に良好な海水浴場として、全国で九つのうちの一つに選ばれました。

所在地：日南市富士 1734

鵜戸さん詣りの風習を今に伝える

🍷 シャンシャン馬

江戸時代の中期から明治中頃まで、結婚すると鵜戸神宮へお参りする風習がありました。美しく飾った馬に花嫁を乗せ、花婿が手綱を引き、馬が歩くと、馬についた鈴がシャンシャンと鳴ったことから、シャンシャン馬と呼ばれます。





地域で語り継がれる
伝承に触れる。

海幸彦、そして山幸彦の孫である 神武天皇ゆかりの地へ

古事記・日本書紀で、弟の山幸彦に降伏したと記される海幸彦には、その後を伝える地域の伝承があります。

海幸彦は、ワタツミノオオカミからもらった塩盈珠により山幸彦が起こした満ち潮の波間を磐船（いわふね）という大きくて頑丈な舟で漂い、日南市北郷町の潮嶽神社が建つ地にたどり着いたと伝わります。

海幸彦は、後にこの地を立派に治め、隼人族（はやとぞく）の祖になったと伝わっており、そしてこの地には、海幸彦と山幸彦の争いの原因が釣り針と狩りの道具の交換であったことから、縫い針の貸し借りをしないという風習が残っています。

また、日南市には、海幸彦、そして山幸彦の孫である神武天皇とその妻のアヒラツヒメにゆかりの地も残ります。

神話を身近に感じ、今に語り継いでいるこの土地で、悠久の時に思いを馳せてみませんか。



卍 潮嶽神社

海幸彦を祀る唯一の神社といわれ、近くには海幸彦が船でたどり着いたとされる場所も残ります。

隼人族の叫ぶ声が犬の遠吠えに似ていたといわれることから、この地域では、子どもの初参りに額に「犬」の字を書く風習も残っています。

所在地：日南市北郷町北河内 8901-1
TEL：0987-55-3252



卍 駒宮神社

若かりし頃の神武天皇が過ごしたとされる地に鎮座します。境内には、神武天皇が鉾を納めたとされる「御鉾の窟跡」があり、また神社周辺には、愛馬の龍石を繋いだとされる「駒繋の松跡」や「草履石」、「駒形石」など、ゆかりの史跡が残ります。毎年2月の最終日曜日には、住民が神武天皇に差し上げたという煮花（はせばな）の神事が行われます。

所在地：日南市平山 1095
TEL：0987-23-8520



神武天皇ゆかりの神社

卍 吾田神社

神武天皇の子であるタギシミミとその母のアヒラツヒメなど、3柱の神々を祀ります。



卍 吾平津神社

ご祭神であるアヒラツヒメは神武東征の際、この地に留まり成功を祈ったとされています。



㊦ 神武天皇・龍石 ゆかりの史跡



駒繋の松跡



草履石・駒形石



御鉾の窟跡

周辺観光Info.

Information

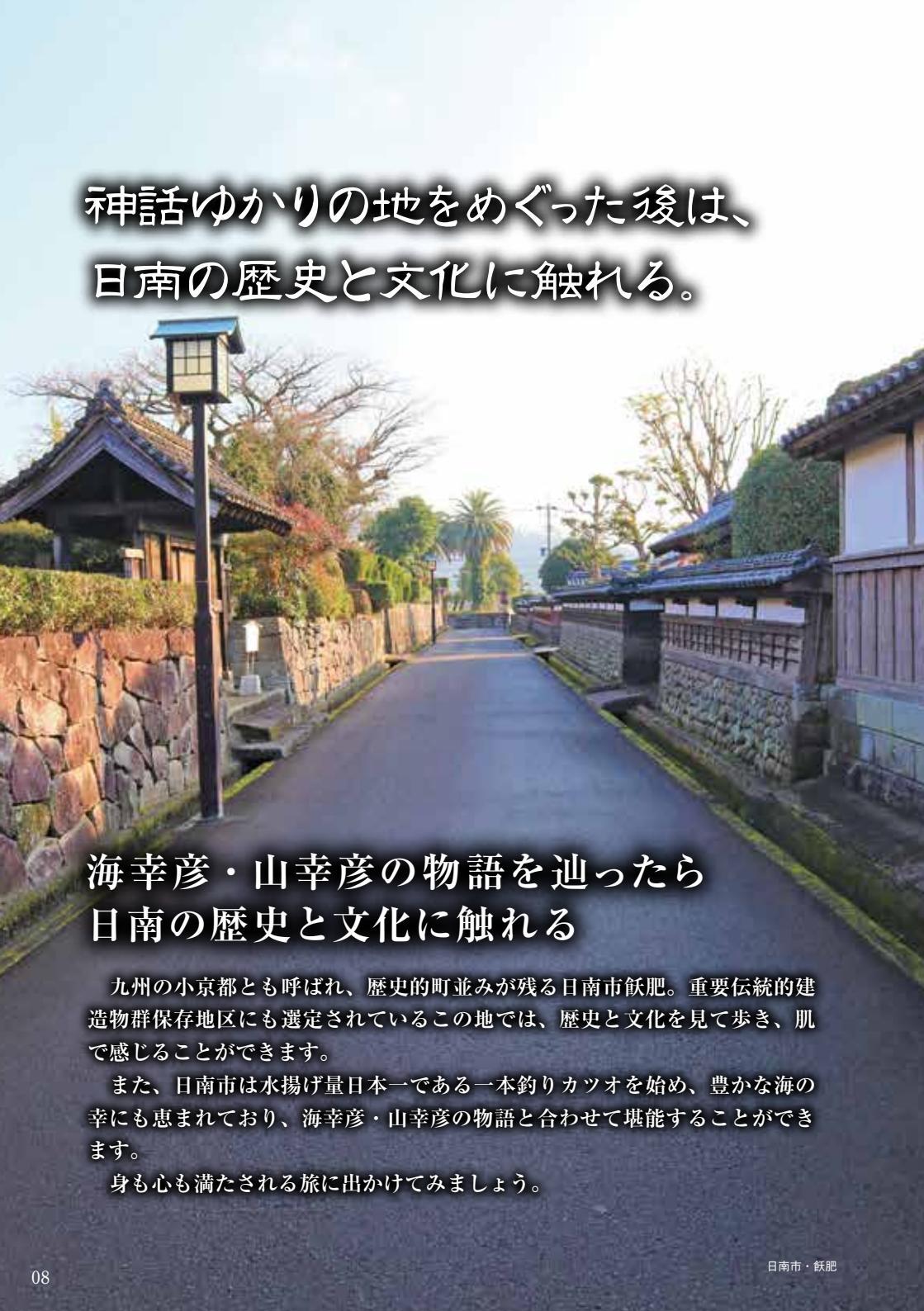
水と緑に癒やされる

㊦ 猪八重渓谷

県南部有数の天然林地帯であり、原始の森と澄み切った清流、滝群など絶好のハイキングコースとなっています。世界的に珍しいコケの宝庫としても知られ、また、森林浴効果も高く、「森林セラピー基地」にも認定されています。

所在地：日南市北郷町猪八重
お問合せ：(一社)日南市観光協会
TEL：0987-31-1134





神話ゆかりの地をめぐる後は、
日南の歴史と文化に触れる。

海幸彦・山幸彦の物語を辿ったら 日南の歴史と文化に触れる

九州の小京都とも呼ばれ、歴史的町並みが残る日南市飢肥。重要伝統的建造物群保存地区にも選定されているこの地では、歴史と文化を見て歩き、肌で感じることができます。

また、日南市は水揚げ量日本一である一本釣りカツオを始め、豊かな海の幸にも恵まれており、海幸彦・山幸彦の物語と合わせて堪能することができます。

身も心も満たされる旅に出かけてみましょう。

🍷 飢肥

戦国時代、飢肥は島津氏の領地でしたが、飢肥城の覇権を巡り、伊東氏と争っていました。天正16年(1588)、伊東祐兵が豊臣秀吉から飢肥の地を与えられ飢肥城に入城して以降、明治初期まで約280年、伊東氏が14代にわたって飢肥藩を治めました。現在は、歴史と文化に触れることのできるまちとして、多くの観光客が訪れています。



🍷 飢肥城址

城郭建築は残念ながら明治6年に取り壊されてしまいましたが、銃弾跡の残る石垣は当時のまま現存しています。大手門は、木造渡槽(とろ)、本瓦葺きの重厚な造りの江戸時代の櫓門で、樹齢100年以上の飢肥杉を4本使った、石垣に合わせて昭和53年(1978)7月に復元されました。

所在地：日南市飢肥十丁目

お問合せ：小村記念館 TEL：0987-25-1905

🍷 飢肥城下まつり

例年10月第3週の土・日曜日に開催され、飢肥の町を中心に繰り広げられます。江戸時代さながらのお祭りで、武者行列や泰平踊、ミスお姫様などのパレードに加え、様々な催しものがあります。城内では、杉木工品や特産物の販売もあり、城下町の風情をたっぷり味わうことができます。

ところ：日南市飢肥城跡周辺

お問合せ：(一社)日南市観光協会 TEL：0987-31-1134



🍷 国際交流センター小村記念館



明治の外交官、小村寿太郎侯の生い立ちから業績までを、資料やビデオなどの展示物で紹介しています。小村寿太郎侯の人生やその時代背景などを理解することができます。

所在地：日南市飢肥四丁目2番20-1号

お問合せ：小村記念館 TEL：0987-25-1905

🍷 四半的

飢肥藩に伝わる弓術で、射場から的まで四間半、弓矢ともに四尺五寸、的が四寸五分で、全て四半であることから四半的と呼ばれ、市の無形文化財として登録されています。気軽に体験することができます。(有料)

体験場所：飢肥観光駐車場横



周辺観光 Info.

Information

海と山の自然にふれる



🛒 道の駅なんごう

日南海岸国定公園の日向灘を望む景勝地に位置し、特産品や新鮮な農産物が所狭しと並びます。ジャコランダなどの花木が四季を彩り、南国情緒にあふれています。

所在地：日南市南郷町贊波 3220-24

TEL：0987-64-3055

🍷 坂元棚田

日南市の最高峰である小松山の南斜面の麓に広がる棚田。長方形の田が階段状に整然と並んだ美しい景観で、「日本の棚田百選」にも選定されています。アジサイや彼岸花など折々の花々を楽しむこともできます。

所在地：日南市大字酒谷甲



山の幸に恵まれた、
神が通った地を巡る。

山幸彦の伝承が残る「串間市」

神代において、串間神社の周辺は「穂穂（ほぐし）の府」と呼ばれ、四方に山が連なり山の幸に恵まれた地で、狩猟に最適な場所であったとされており、この地に山幸彦は「穂穂宮（ほぐしのみや）」という仮宮所を設け、狩猟に通ったとされています。

串間神社では毎年2月20日、1キロほど離れた女躰（によたい）神社の御祭神で山幸彦の妻であるトヨタマヒメを迎えに行き、山幸彦と年に1度の逢瀬を果たす「ねたろう神祭」と呼ばれる春祭が行われます。

山幸彦の伝承が色濃く残る串間市を訪れば、豊かな自然の中で獲物を追いながら過ごした山幸彦の姿が思い浮かぶようです。

串間神社

彦火火出見尊（山幸彦）を御祭神とし、その他に12柱の神々を祀るため、十三所大明神と称されていました。狩りに最適な場所であったため、山幸彦が笠狭の宮から通ったとされ、その時置かれた仮宮所の跡に鎮座するとされています。

所在地：串間市大字串間 1410
TEL：0987-72-2442



串間神社・春祭（ねたろう神祭）

祭りの日には、境内で木彫りの牛を神官が操り、米が作りの流れが演じられ、五穀豊穡が祈念されます。



周辺観光Info.

Information

美しい自然と温泉に癒やされ、新鮮な海の幸をいただく

赤池溪谷

串間市北部に位置する風光明媚な溪谷。起源は、約2万5千年前の始良大噴火にさかのぼり、その時の溶結凝灰岩が川の浸食を受け、滝や罅穴、柱状節理の川壁を生み出しました。新緑や紅葉など、季節毎に素晴らしい景観を楽しむことができます。

所在地：串間市赤池 お問合せ：串間市観光物産協会 TEL：0987-72-0479



港の駅いままち

串間市漁協が運営する農水産物直売所。朝どれの鮮魚や加工品などが販売されています。新鮮な海の幸を求めめるには最適です。

所在地：串間市西方 15071-127
お問合せ：串間市漁協 TEL：0987-72-0020




近代和風建築の風情を味わう

旧吉松家住宅

明治～昭和にかけて串間の経済・政治に貢献した吉松家の住宅。当時最高の技術と材料が用いられ、その卓越したデザインから国の重要文化財に指定されています。

所在地：串間市西方 5509
TEL：0987-72-6511
開館時間：9:00～17:00
休館日：火曜日
料金：見学無料





山幸彦の物語に思いを馳せたら、
広大な景色を眺め、
明日への活力を得る旅へ。

海を見晴らす大パノラマが広がる都井岬。降り注ぐ太陽の下には、「御崎馬」と呼ばれる野生馬が生息し、訪れる人々の心を和ませてくれます。

雄大で開放的な自然に身を置くことで、明日へと踏み出す力を受け取る。これもまた、自然の幸なのかもしれません。

🍷 御崎神社

都井岬の先端、切り立った断崖の中腹に鎮座します。創建は古く708年と伝わり、航海の安全の神として信仰を集めています。神社まで登ることはできませんが、目の前に広がる青い海、白い波が織りなす美しい風景も楽しむことができます。

所在地：串間市大字大納字御崎

お問合せ：串間市観光物産協会 TEL：0987-72-0479



🌿 都井岬のソテツ

御崎神社周辺に、およそ3,000本の亜熱帯樹林ソテツが自生しています。昭和27年(1952年)に国の特別天然記念物に指定されました。自生する北限として学術的にも貴重なものです。



🐎 御崎馬

都井岬に生息する馬は「御崎馬」と呼ばれ、江戸時代初期に藩営牧場が設置されて以来、ほとんど人の手が加えられず生きてきたため、習性や体型等は野生状態を思わせます。昭和28年(1953年)に純粋な日本在来馬として国の天然記念物に指定されました。



🌿 都井岬ビジターセンター

岬のジオラマや馬の一生の展示などで、都井岬の自然と御崎馬について学ぶことができます。入館者を対象に、職員による野外ガイドも実施しています。

所在地：串間市大字大納 42-1

TEL：0987-76-1546 営業時間：9:00～17:15

定休日：月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料：大人310円(団体250円)、小中学生200円(団体150円)

※団体：20人以上

周辺観光Info.

Information

猿たちのしぐさや表情に癒される

🐒 幸島

美しい海に囲まれ、ほぼ全域を常緑広葉樹と照葉樹林に覆われた無人島です。生息している約100匹のニホンザルを含めた幸島全体が「幸島サル生息地」として国の天然記念物に指定されています。

所在地：串間市大字市木

お問合せ：串間市商工観光スポーツランド推進課 TEL：0987-72-1111



日南・串間の特産品

豊かな自然とそこに息づく文化が育む名物。神話の旅と一緒にいかがですか。



日南魚うどん

戦時中、主食が不足していた頃に代用食として魚で作っていたうどん。戦後、その懐かしい味を再現したところ、お年寄りや若い人にも人気が出て親しまれるようになりました。低カロリー・高タンパクで、ダシも出る優れたものです。



一本釣りカツオ炙り重

日南市が漁獲量日本一を誇るカツオを使った、自分で炙って食べることができます。刺身で食べてももちろんおいしく頂ける新鮮なカツオを、それぞれのお店の特製漬けダレと一緒に楽しむことができ、お茶漬けスタイルで締めることもできます。

飴肥の厚焼きたまご

かつて殿様に献上された「厚焼きたまご」。七輪で上と下から時間と手間をかけて焼き上げられます。プリンのような口当たりと上品な味わいは絶品です。



完熟きんかん

ハウスで大切に育てられた生食用のきんかんのうち、特に糖度が16度以上で大きく育ったものは「たまたま」として出荷されます。甘くフルーティーな果物として人気です。



飴肥杉

「飴肥杉」として知られる日南の杉を使い、お皿やご祝儀袋などさまざまな品が作られています。2つとして同じものがないのも魅力かもしれません。



飴肥の天ぷら

近海でとれた新鮮な魚のすり身に、豆腐・黒砂糖・味噌をまぜ合わせて作る、ほんのり甘くてやさしい風味の庶民の味です。食べ歩きながら町を散策することもできます。



スイートピー

日南市が日本一の生産量を誇り、香りや色とりどりの鮮やかな色を楽しむことができます。





甘藷 (かんしょ)

いわゆるさつまいものことで、年間1.4万トンも生産されています。有名なブランド品種「ヤマダイかんしょ」は上品な甘さとほくほくした食感で高く評価されています。



かつお うみっこ節

加工センターで背骨や皮・小骨なども手作業で丁寧に取り除き、大鍋で煮た後、水を使わずに砂糖・醤油・酒・みりん・焼酎でできた煮汁で煮込み、一晚漬け込んだ逸品。



串間活みぶりプリ丼ぶり

黒潮の恩恵を受けて、大きく育った黒瀬ぶり。水揚げ後、船上ですぐに活け締めされ鮮度バツグンな刺身の下には、新鮮な野菜とあつあつご飯、そして丼ぶりの底にはさらにお楽しみが。豪華な丼ぶりを2種類のタレで楽しんで。



美咲豚

100%串間産のこだわ豚。肉はもちろん脂身までおいしいことが特徴で、しゃぶしゃぶにしているのがおすすめとか。

日南の神楽

宮崎県内各地では、その年の実りへ感謝し、また五穀豊穡を祈願するなど、舞に地域の神々への祈りを込めた伝統神事芸能「神楽」が行われています。日南市でも、2月中旬から5月下旬にかけておよそ30か所の鎮守社境内で神楽が奉納されます。ぜひ現地に神楽を見に行ってみませんか？

うしおだけ

潮嶽神楽

日南市北郷町にある潮嶽神社の境内で毎年2月11日に奉納され、春の訪れを告げる神楽です。潮嶽神社は全国で唯一、海幸彦を祀る神社とされており、鯛を付けた釣り竿を繰りながら海幸山幸神話を唱える「魚釣り舞」などの特色ある舞や、五穀豊穡・子孫繁栄を祈願する「箕取り舞」などが舞われます。



鉦舞



猪汁



魚釣り舞

潮嶽神楽

開催場所：潮嶽神社 開催日：2月11日（建国記念の日）

時間：午前9時頃～神事後の、神楽奉納

日南・串間 MAP



日南コース

串間コース

日南市

串間市

おすすめ観光ルート

日南・串間の魅力がたっぷり味わえる
 っておきのスポット満載ルート

海幸彦・山幸彦が織りなす神話の世界に思いを馳せながら、日南市・串間市に点在するゆかりの地や雄大な自然に魅了される観光スポットを巡ろう！

日南コース

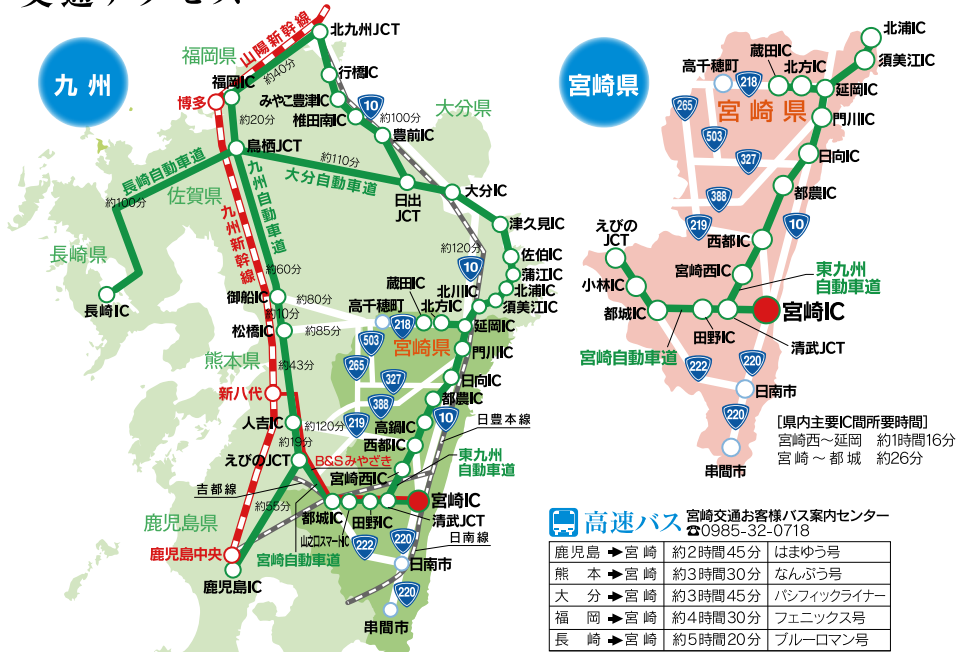


串間コース



交通アクセス

※2019年3月現在の情報です



【県内主要IC間所要時間】
 宮崎西～延岡 約1時間16分
 宮崎西～都城 約26分

高速バス 宮崎交通お客様バス案内センター ☎0985-32-0718

鹿児島 → 宮崎	約2時間45分	はまゆう号
熊本 → 宮崎	約3時間30分	なんぶろ号
大分 → 宮崎	約3時間45分	パンフィックライナー
福岡 → 宮崎	約4時間30分	フェニックス号
長崎 → 宮崎	約5時間20分	ブルーロマン号

新幹線・JR特急

JR 宮崎駅 ☎0985-23-3454

新大阪駅	山陽新幹線	博多駅	九州新幹線	新八代駅	日豊本線		宮崎駅
					大分駅	鹿儿岛中央駅	
					高速バス		
					B&Sみやざき号/約2時間3分	(新八代～宮崎)	
					B&Sみやざき号/約3時間4分	(博多～宮崎)	
					B&Sみやざき号/約5時間43分	(新大阪～宮崎)	

※所要時間は最速

空路(宮崎空港)

ANA(羽田) → 宮崎	約90分	ANA,JAL,ソラシドエア	全日空(ANA)	オリエンタルエアリッジ(ORC)
JAL(羽田) → 宮崎	約90分	ジェットスター	国内線 ☎0570-029-222	☎0570-064-380
ANA(羽田) → 宮崎	約75分	ANA	日本航空(JAL)	アジアナ航空
ANA(羽田) → 宮崎	約65分	Peach	☎0570-025-071	☎0570-082-555
ANA(羽田) → 宮崎	約60分	ANA,JAL	ソラシドエア	チャイナエアライン
ANA(羽田) → 宮崎	約45分	ANA,JAL,ORC	☎0570-037-283	☎0985-64-9811
JAL(羽田) → 宮崎	約80分	ソラシドエア	Peach	イースター航空
JAL(羽田) → 宮崎	約80分	ソラシドエア	☎0570-200-489	☎050-5520-6712
ソラシド(羽田) → 宮崎	約100分	ソラシドエア	ジェットスター	
ANA(羽田) → 宮崎	約180分	チャイナエアライン	☎0570-550-538	

カーフェリー(宮崎港)

三宮(神戸港)	19:10発(月～土) 18:00発(日) 翌日7:30着	→	翌日8:40着	宮崎	宮崎カーフェリー予約センター 神戸 ☎078-321-3030 宮崎 ☎0985-29-5566
	翌日7:30着	←	19:10発		

宮崎県 総合政策部 記紀編さん記念事業推進室

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 電話：0985-26-7099

Facebook
「神話のふるさと みやざき」

神話のふるさと みやざき